

7/6 中央委員会

初めて時間外で開催

7月6日、午後5時半から第17回中央委員会が開催されました。6月から本部の機関会議が原則として時間外開催となり初めての中央委員会でした。5時45分時点で、中央委員85名中、46人が参加し、成立しました。熱心な審議が行われ、8時に終了しました。主な決定事項は次のとおりです。

○ 本部大会と役員選挙 ○

本部定期大会を9月30日に開催することになりました。かつては平日に2日間行われた大会ですが、今回は日曜日一日の開催となります。

大会は代議員制で行われます。その代議員の選出割合を40分の1（20捨21入）と決定しました。わが支部は代議員一人となります。

今大会は役員改選の大会なので、役員の数について中央委員会で決定しました。副委員長は現在と同じ2名と決定しました。また一組選出の中央執行委員は現在の5名から3名に減りました。これは昨年4月から一組当局との交渉が一組総支部により担われているためです。その前は一組選出中央執行委員と工場協役員による一組交渉団により担われていたため、前者の人数が5名に増やされていました。

○ 犠牲者救援資金 ○

埋立処分場に働く枝川支部の仲間は東京都との賃金闘争を東京清掃では実質的に担えないので、昨年から都庁職都市整備環境支部に合流していました。この度その都市整備環境支部から枝川支部組合員の積み立てきた労働運動犠牲者救援資金を同支部に拠出するよう東京清掃に要請がありました。

本部からはこの要請に応じて一人24,000円を同支部に支払うことが報告され、了承されました。ただし、その金額は労働運動犠牲者救援資金からは支出せず、一般会計から支出されます。

この犠牲者救援資金については一組本庁支部選出の山崎中央委員から質問をしました。

東京清掃本部の機関会議については原則時間外で開催し、賃金改定期など必要な場合は時間内に無給職

免を取って開催し、その場合は犠牲者救援資金から賃金カット補償をすることが確認されています。一組総支部については、原則として時間内に無給職免を取って機関会議を開催し、賃金カットは一律2500円補償することを臨時大会で決定しました。しかし、これには本来は犠牲者救援資金から賃金カット補償すべきであり、本部にその補償を求めて行くことが、前提条件になっています。この前提に立って、山崎中央委員は総支部、支部の機関会議を無給職免でやった場合、犠牲者救援資金の適用を受けられるか、質問をしました。これに対して大島書記長から支部、総支部での機関会議の問題や犠牲者救援資金については次期大会で検討することになっている、という答弁がありました。

【中央委員会の議案書は東京清掃のホームページの組合員のページに掲載されていますので、IDとパスワードを入力してご覧下さい。】

夏季統一カンパ

ご協力をお願いします。

東京清掃本部から夏季統一カンパの要請が来ています。これは夏と冬の一時金支給時に、争議組合や災害被害者への支援カンパをまとめて行っているものです。

一組本庁支部では昨年冬、初めて東京清掃組合員以外の方にも呼びかけて取り組み、本庁で15,476円のカンパをいただきました。東京清掃全体では105万円になり、裏の振込先一覧のとおり、国鉄解雇などの争議支援、国際連帯カンパなど9件に分けて渡されました。

今年も同様の取り組みをします。目標は一人500円です。東京清掃を通じて裏に記載のような団体に渡されるものですので、各区職労の組合員の皆さんもよろしかったらご協力ください。

後ほど青い袋のカンパ袋を回します。

世田谷工場支部結成！

7月4日世田谷工場支部が結成されました。中村幸夫支部長以下の執行部が選出され、総支部に加わりました。